

離島の再生可能エネルギー導入促進のための蓄電池実証事業実施要領

1 目的

この実施要領は、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金交付要綱（平成26年4月1日付け環地温発第1404013号）第4条第7項の規定に基づき、同条第1項第5号に掲げる事業の実施に関して必要な細目等を定めることにより、地球温暖化対策の強化と速やかな普及を図ることを目的とする。

2 事業の実施方法等

(1) 対象事業

離島の短周期及び長周期変動の両方の特性に対応する新たな蓄電池の効率的管理・制御手法を開発し、再生可能エネルギー導入量の最大化と蓄電池容量の削減による経済性の向上を同時に実現する蓄電池の活用方法等を確立するための技術実証事業であって、下記の要件を全て満たすもの。

- 一 再生可能エネルギー導入最大化のため、長周期変動と短周期変動の両方を、特性の異なる蓄電池の組み合わせと制御方法の開発により、効率的に変動を緩和するものであり、そのための管理・制御手法を開発するものであること。
- 二 単一の蓄電池のみを使用する場合と比較し蓄電池容量と導入コストを低減できる効率的な設備であること。
- 三 実証事業を実施する離島において、対象とする蓄電池システムの技術的評価を行うに十分な再生可能エネルギー発電設備（太陽光発電及び風力発電設備であって、各々の定格出力が1MW以上のもの）が導入されている、又は、導入する措置が講じられること。

(2) 補助対象経費

補助対象経費は、(1)の事業の遂行に真に必要な経費のみとし、特に以下の経費は対象としない。

- ア 事業に必要な用地の確保に要する経費
- イ 建屋の建設（簡易なものを除く。）に係る経費
- ウ 再生可能エネルギー発電設備の整備に要する経費
- エ 事業実施中に発生した事故・災害の処理に要する経費
- オ その他、事業の実施に関連性のない経費

(3) 維持管理

導入した設備は、設備所有者又は設備管理者の責任の下で適切な維持管理が講じられるものであること。また、導入に関する各種法令を遵守すること。

(4) 二酸化炭素削減量等の把握及び情報提供

事業実施者は、対象事業における発電量や二酸化炭素の排出削減量、化石燃料の削減量その他事業から得られた情報を、環境省の求めに応じて提供すること。

(5) 事業報告書の作成及び提出

事業実施者は、補助事業に係る設備の使用開始の日からその年度末まで、及びその後の3年間の期間について、毎年度、発電等の状況、導入した設備・システムの効果検証、事業による二酸化炭素の削減効果等を取りまとめた事業報告書を作成し、当該年度の翌年度の4月末までに提出すること。なお、二酸化炭素削減効果については、削減量、その算出方法及び算定根拠を記入するとともに、算定根拠として使用した具体的資料を明示すること。

また、3年間の期間の最後に提出する事業報告書においては、当該事業の費用対効果、経済性・事業性の評価、当該事業以外に他地域へ同様の蓄電池システムを導入する等水平展開の実績及び今後の見込み等を含めたものとする。

附 則

この実施要領は、平成26年4月1日から施行する。

平成 年度離島の再生可能エネルギー導入促進のための蓄電池実証事業報告書

平成 年 月 日
事業実施者
氏名又は名称
代表者の職・氏名

1 事業概要

【本事業で行った事業の概要を記入する。】

2 事業実績（発電等の状況）

【本報告の対象とする年度（補助事業に係る設備の使用を開始した年度においては、使用開始の日からその年度の3月末までの期間。以下同じ）に実施した設備整備、改善点等及び再生可能エネルギー発電等の状況について記入する。】

3 導入した設備・システムの効果検証

【再生可能エネルギー発電等の実績を踏まえ、蓄電池による出力変動抑制効果、再生可能エネルギー導入拡大効果等について検証し、その内容を記入する。】

4 二酸化炭素の削減量

（1）削減量（実績）

【本報告の対象とする年度における、本事業による間接的な二酸化炭素削減量、化石燃料等の削減量等について、算定方法及び算定根拠と併せて記入する。また、算定根拠として使用した具体的資料を添付する。】

（2）実績報告書における削減量に達しなかった場合の原因

【（1）の削減量（実績）が、実績報告書に記載した二酸化炭素削減量に達しなかった場合に、その原因を分析し、その結果を詳細かつ具体的に記入する（実績報告書に記載した二酸化炭素削減量に達した場合は、記入を要しない。）】

- 5 事業による波及効果等（3年間の期間の最後に提出する事業報告書において記載する。）
【事業の費用対効果、経済性・事業性の評価、他地域への水平展開の実績・今後の見込みに関する状況をできるだけ具体的に記載する。】

【用紙は日本工業規格A列4番の用紙を用い、文字の大きさは10～12ポイント程度、フォントは自由とする。】

【罫線は削除して差し支えない。】

【ページ番号を付す。】